

# 運行管理シミュレーション装置

Train Operation Simulator

異常時に対応した運転取り扱い訓練も強力にサポート

運行乱れ時にダイヤを回復させるための手段として、運行管理システムには運転整理機能や手動進路制御機能がありますが、典型的な判断が難しく、輸送障害発生ごとの実状を勘案して指令業務を行っております。

このような場面で本シミュレータ装置を活用し、過去に発生した障害の発生状況を再現することにより、運転整理、手動進路制御の方法を再検討できます。

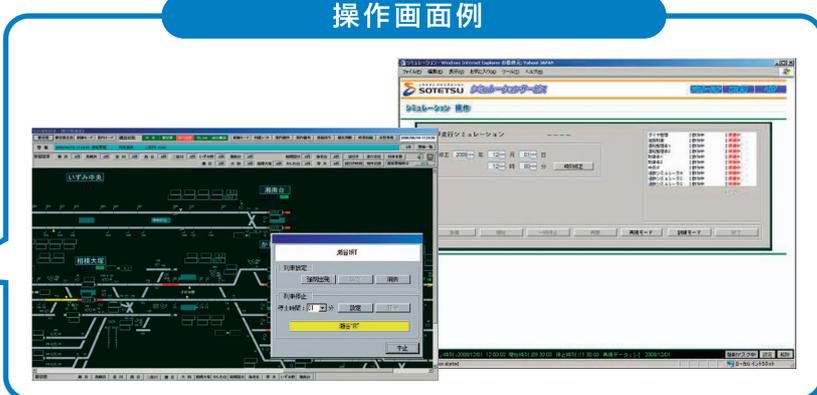


## シミュレーション操作卓

過去の輸送障害事例を再現し、最適な操作を検証します。



### 操作画面例



## 機能概要

自由にダイヤを立ち上げた模擬列車走行や実際に運行した実運用実績データに基づいた運行の再現を行うことができます。さらには実績ダイヤや運行変更の再現後、任意のタイミングで列車走行モードに切り替えることにより、連動情報、列車長、訓練速度を考慮した模擬列車走行に追従する形でシミュレーションを行い、任意の事故などの運転整理や手動進路制御の各種操作扱い訓練を行えます。

また、シミュレートした訓練結果（訓練実績）のデータ保存と再現を可能としているため、訓練結果の振り返りを行うことができます。

